

C O M P A N Y P R O F I L E

WARK WITH NIKKEN HISTORY

**次世代を見つめ、先進技術で進化する
企業を目指しています。**



NKプラスチック株式会社

精微な領域にこそ、 日建ラスの技術が生きる。

NKプラスチックが提供する「エキスパンドメタル」「パンチングメタル」を中心とする各種メッシュ製品は、自動車メーカーやプラントメーカーをはじめとする幅広い業界で活躍しています。いずれの業界でも求められるのは精密さです。それは“精密であることは正確であること”であり、安全を確保するため、高度な技術と能力を発揮させるため、また効率性を高めるために、必要不可欠な条件の一つになっています。NKプラスチックは、研究開発に力を入れており、精緻な領域に対応する“ものづくり”を追求しています。

代表取締役 会長 福島 忠敬

産業・社会・暮らしを支える、
それがNKプラスチックの企業ミッション。
打抜金網やメタルラスの技術を深掘りすることで、
当社は事業の領域を拡大してきました。そして既存技術や業界における既成概念では不可能と
思われてきた広巾コイルの打抜や工業用精密ラスの製造も可能にし、より高度なニーズに応える
サプライチェーンとしての評価を得ております。
当社の特徴は、ユーザー企業が求めておられる
高いハードルにチャレンジし、クリアできるまで研究開発を続け、量産化できる生産技術を構築し
ていく“あきらめない力”にあるといえます。その
原動力となっているのが、企業が持つ

世界市場へ進出

プラントの建設に世界が注目する、日本の安全・安心、環境保全技術。日建ラスの製品も優れたジャパントクノロジーの一端を担い世界市場に進出しています。

技術刷新に寄与

エレクトロニクスの分野は、絶えず高精度・高精度化を追求しています。ハイスピードの技術革新に日建ラスの技術開発力が寄与しています。

創業1924年。長い歴史と共に日本の産業界に 貢献する技術系企業です。

効率化をサポート

ユーザー企業のパートナーとしてオンデマンドの製品開発をおこない、各種製造装置の高度化と生産ラインの効率化に寄与します。

各種機械
メーカー

家庭電化製品

快適な生活づくり

精密さが要求されるデジタル家電にも日建ラスの製品が使われています。80年を超える長年の技術的蓄積とノウハウが可能にしました。

NIKKEN
LATH

化学プラント

自動車部品

よりよい生活環境

安全が最優先の自動車。日建ラスは設計から製造・検査まで一貫した体制を整えており、高精度の部品提供を通して安心な毎日を支えています。

インフラ関連
道路・鉄道・
通信エネルギー

社会基盤整備に貢献

中国やインドをはじめとする新興国や台湾・東南アジア諸国などでは、インフラ整備が急ピッチで進められ、日本でも自然エネルギーへの転換が推進されています。日建ラスの技術を必要とするフィールドは国内外を問わず拡大しています。

電子部品

NKプラスチックがめざしている高品質は、品質管理の徹底に止まらず、高い生産技術・検査技術の追求に裏打ちされた高精度な品質です。平成15年に品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001の認証取得もラオス業界では先駆けておこない、いまや生産技術開発・製品開発のベースとして品質マネジメントシステムが機能しています。

機械は、弊社が独自に研究開発したもので、巾広、高性能、効率的のシステムが特長。極小径穴の製造が可能で、また、量産向きに自動化されており、製造用途に応じたものを、高精度、高品質でつくりつけます。近代的な設備で、多様なニーズに、合理的、経済的にお応えします。

わたくしどもは、企業発展は、新しい技術の導入、設備の増強、そして「考える力」プレーンにあると確信しています。そして、ひとびとのより豊かな暮らしをつくるのに役立つ製品を求めて、日夜たゆみなく研究開発を続けています。また、生産革新、技術開発、生産合理化、近代化を考えると、仕事を自己表現の場とし、仕事を通じて、社会の一員としての使命を乗り、仕事の中に意欲と自覚と喜びを見つけてゆく所存です。

放電加工機、マシニングセンター等、ご注文に応じて機器、機械にマッチした、精密な金型を当社独自のCAD・CAMシステムによる金型設計をし、製作します。広巾で効率的な金型を製作するため、精度の高いものが得られます。

すぐれた製品を仕上げるのこそ、わたくしどもの喜び。出来上がった製品は、最新の技術と設備で、厳重にチェック。すべて、厳選されたものばかりです。安心してお使いいただけるよう、常にユーザーのご信頼にお応えするものだけをお届けしています。

製品No.	メッシュ径 (mm)		材料厚さ (mm)		ストランド径 (mm)		最大加工径 (mm)
	SW	LW	MIN	MAX	MIN	MAX	
NK1012	1.25	2	0.2~0.4	0.3~0.4	1,000		
NK1521	1.5	2.1	0.2~0.5	0.3~0.5	1,000		
NK1813	1.8	3	0.2~0.5	0.3~0.5	1,250		
NK2023	2	3	0.2~0.8	0.3~0.8	1,250		
NK34.5	3	4.5	0.3~1.0	0.3~1.0	1,219		
NK0306	3	6	0.3~1.0	0.3~1.0	1,829		
NK0308	3	8	0.3~1.0	0.3~1.0	1,250		
NK0408	4	8	0.3~1.2	0.3~1.2	1,829		
NK0510	5	10	0.3~1.6	0.3~1.6	1,250		
NK0514	5	14	0.3~1.6	0.3~1.6	1,829		
NK0614	5	14	0.4~1.6	0.4~1.6			



パンチングメタル同様、ニッケル・チタン・ステンレス・アルミをはじめ金・銀・黄銅板・銅板や、各種非鉄金属・樹脂等、幅広い材質の加工が可能です。また、規格に無いお客様オリジナルの仕様にも対応できます。

1.2m/m～9.0m/mの炭素鋼板を変形の網目状に常溫引伸切斷したもので、
 数々のすぐれた特質と画
 期的な幅広い用途をもっ
 ています。

用途

- 鉄筋コンクリート用
- 棚、船舶等の隔壁
- 危険防止保護用窓枠
- 室内装飾用等

SW ダイヤモンド封入縁起近辺でS Wが用いられるにつれて、 平方当りの目の数は減少します。	LW ダイヤモンド封入縁起近辺でL Wまたは角にコイル巻くこと で平行です。	The diagram shows a cross-section of a mesh. A horizontal line at the top is labeled 'W'. Below it, two diagonal lines represent the mesh strands, meeting at a point labeled 'SW' in the center. At the bottom, a horizontal line is labeled 'LW'. The overall shape is a downward-pointing triangle.
使用金属 ステンレス・チタン、モリブデン、 ニッケル・銅質、アルミ・金・銀、 タングステン	ストランド編 ストランドは鋼線、加工材料にス リヤをいれる網の構造の寸法です。	最大板幅 製品上のSW値以上の最大幅を引 き出す。LW値以上は最大幅



NIKKEN FINE MESH & SCREEN

鉄はもとよりニッケル・チタン・ステンレス・アルミ等、非鉄金属や樹脂等幅広い材質の加工が可能です。
また、自社で金型や設備の設計・製作しておりますので、規格に無いお客様オリジナルの仕様にも加工することも出来ます。
お客様の期待水準をこえた精度を実現する独自の精密加工技術と豊富な経験にご期待ください。

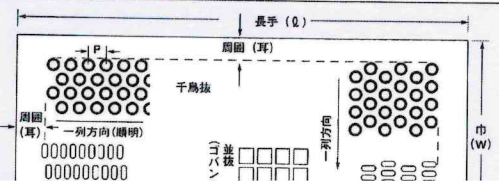
No. 1	No. 8	No. 9	No. 12	No. 16	No. 19	No. 21
D0.5 P1.0 22.6%	D1 P2 22.7%	D1.0 P1.8 28.0%	D1 P2.5 14.5%	D1.5 P3 22.6%	D2 P3 40.6%	D2 P3.5 29.6%
No. 24	No. 26	No. 29	No. 30	No. 31	No. 33	No. 36
D2.5 P3.5 45.0%	D2 P3 41.3%	D3 P4.5 39.0%	D3 P4 51.0%	D3 P5 32.6%	D3 P6 23.0%	D4 P7 29.6%
No. 41	No. 42	No. 43	No. 49	No. 101	No. 127	
D5 P10 39.3%	D6 P9 40.2%	D6 P8 51.0%	D8 P10 58.0%	37.0%	3×20 33.0%	
No. 149	No. 152	No. 163	No. 155	No. 166		
56.0%		63.4%		D6 P9 44.4%		

その他、多彩なバリエーションで取り揃えております。

その他、
多彩なバリエーションで
取り揃えております。

ご注文またはご照会には、右記
要領をご記入下さい。尚、図面

- ①材料の種類
- ②板の厚み
- ③幅
- ④長さ
- ⑤穴径
- ⑥間隔(ピッチ)
または当型録番号
- ⑦板の周囲の穴を要する場合は、その穴径と間隔を記入



Network

専門性に富む高精度な精密メタル加工の技術で 日本国内はもとよりグローバルな ニーズに応えています。

当社は国内に5つの工場を有し、精密メタル加工の技術で国内外の需要に応えています。高精度な技術を要する金型製作や金属加工については、それぞれ専門工場として大阪第二工場・鹿児島第一工場を設け、難度の高いニーズに対応するとともに、技術の深化に努めています。また、営業ネットワークは大阪を中核拠点とし、日本国内はもとより、海外についても日系企業を中心にグローバル展開しており、顧客企業のニーズに合わせた製品の提供を行っています。



大阪第二工場
〒561-0891
大阪府豊中市走井2丁目10番2号
TEL.06 (6843) 6133 (代)
FAX.06 (6855) 2369



鹿児島第一工場
〒899-6403
鹿児島県霧島市清辺町三縄578番5
TEL.0995 (59) 2255 (代)
FAX.0995 (59) 2992



本社ビル
〒531-0073
大阪市北区本庄西2丁目12番12号
TEL.06 (6372) 5551 (代)
FAX.06 (6372) 5896

組織図



概要

商 号 NKプラスチック株式会社
本 社 大阪市北区本庄西2丁目12番地12号
工場・営業所
[大阪第一工場] 大阪府豊中市走井2丁目10番2号
[大阪第二工場] 大阪市豊中市箕輪3丁目6番22号
[大阪金型工場] 大阪市豊中市走井2丁目10番1号
[鹿児島工場] 鹿児島県霧島市清辺町三縄578番5
創 業 大正13年8月(1924年)
設 立 昭和26年4月(1951年)
事業目的 特殊精密ラス、メタルラス、エキスパンドメタル、
各種打抜金網、プレス、スポーツ加工、バンチング加工
資 本 金 13,000,000円
役 員 代表取締役社長 福島 忠敬
社 員 55名(平均年齢29才)
取引銀行 三井住友銀行 西野田支店
池田泉州銀行 池田営業部
三菱UFJ銀行 豊中支店
表示許可 ISO14001 登録証番号 JQA-EM2589
ISO9001 登録証番号 JQA-QMA10379
加盟団体 公益社団法人 経済同友会
社団法人 関西経済同友会
社団法人 大阪商工会議所
社団法人 大阪金属プレス工業会
主な納入先 大手家電メーカー、自動車メーカー、

沿革

1924年 8月 合資会社日本建材工業社創立
メタルラスの製造並びに打抜金網の製作をする
1945年 5月 工場戦災のため全焼一時休業
1946年 4月 日建ラス工業株式会社設立(大阪市、福島区)
代表取締役 福島進三郎により、メタルラス製造事業開始
1960年 8月 打抜金網の製作を再開する
1962年 10月 豊中工場完成(ラス工場稼働)
1964年 12月 本社工場完成(打抜金網工場)
1966年 6月 日本工業規格表示許可工場認可を受ける
許可番号566032
1968年 2月 豊中新工場完成、打抜金網工場併設
1971年 4月 弊社特殊ラス日本国有鉄道指定商品の指定を受ける
1972年 10月 大阪第一工場、神戸税関の保税工場の認可を受ける
1979年 9月 大阪金型工場完成(金型製作専用)
1982年 2月 大阪第二工場完成
1984年 9月 新本社ビル(6階建)新築移転
1987年 4月 大阪第一工場増築
1989年 4月 アメリカ・ロスアンゼルスに100%出資会社
"ROYAL REN CORPORATION"設立
1992年 1月 鹿児島県工業団地用地を取得(総面積11.05m²)
1993年 2月 鹿児島第一工場完成(総合金網加工専用工場)
1994年 8月 創業70周年式典を行う
1996年 1月 資本金13,000,000円に増資
2001年 4月 鹿児島第二工場完成
2002年 9月 ISO 14001認証取得
2003年 9月 ISO 9001認証取得
2005年 4月 創業80周年式典を行う



JQA-QMA16222



JQA-EM7620

※ISO9001

特殊精密打抜き加工品の製造

並びにそれらの金型の設計及び製造

※大阪工場・鹿児島工場・大阪第2工場

NKプラスチックは品質マネジメント

システムの国際規格ISO9001と

環境マネジメントシステムの

国際規格ISO14001を

取得したグローバル企業です。

創業大正13年 Since1924



NKプラスチック株式会社

本 社 〒531-0073 大阪市北区本庄西2丁目12番12号
TEL.06 (6372) 5551 (代) FAX.06 (6372) 5896

大 阪 工 場 〒561-0891 大阪府豊中市走井2丁目10番2号
TEL.06 (6843) 6133 (代) FAX.06 (6855) 2369

鹿児島工場 〒899-6403 鹿児島県霧島市溝辺町三縄578番5
TEL.0995 (59) 2255 (代) FAX.0995 (59) 2992

E-mail nikken-hq@nkplustec.co.jp

ホームページ

nkplustec.co.jp